

7月（文月）

## 七夕祭(7月7日)

### しょうゆご飯、冷し汁、 きゅうりもみ

### つくりかた

材 料 (5人前)	
餅 米	カップ5杯
しょうゆ	カップ1/2杯
けずりぶし	少々
きゅうり	1本
みず(山菜)	小1束
しその葉	5枚
みそ	30g
きゅうり	3本
青豆	大さじ3杯

豆麩	5g
酢	大さじ2杯
砂糖	〃 〃
塩	小さじ1/4杯

#### しょうゆご飯

分量のしょうゆ、けずり節を入れて普通に炊きます。

#### 冷し汁

① みそをよくすり、水を入れ味をととのえ冷やしておく。

② きゅうりは4つ割りにして種を取り、斜切りにする。

③ みずは、すりこぎで少したたき2cm長さに切る。

④ ①にきゅうり、みず葉、線切りしたしその葉を入れ出来上り。

#### きゅうりもみ

① きゅうりは皮をむき、2つに切り種を取りうす切りし、塩をあてる。

② 豆はゆでてはじいておく。

③ 豆麩は水につけて柔らかくもどす。

④ 調味料を合わせ①②③を入れ仕上げる。

### 言 伝 え

牽牛、織女星が天の川を渡って、年に一度逢うという、中国の星祭りの行事が伝えられたものである。子ども達は1ヶ所に6日の夕方から集まり、竹に色紙や短冊を飾り、色々ごちそうを供える。西瓜や瓜等も供えた。床を作り、夜通し楽しみ、7日の朝、七夕流しと言って丹生川まで行って流し、身を清めるという意味で水泳ぎをする。天の川になぞらえて、そうめんを食べる家もある。又、夏祭りを併せて行ったり、朝仕事に墓掃除をして墓前に笹の葉、くぞ葉(くずの葉)等を敷き、赤飯を供え、お詣りした地区もある。この日からお盆に入る。

### 参 考

夏野菜を上手に使った素朴な味の料理である。

夏の暑い日、食欲のない時に冷たくして作った最高のご馳走である。しょうゆご飯と冷たい料理の取り合わせに、先人の知恵がしのばれる。

## お盆(墓参り)

7月13日

お盆はお釈迦様が餓鬼道地獄に落ちて苦んでいた弟子の母を供養して救ったという伝説から発した行事。この日は先祖の精霊がわが家に帰るとされた。<sup>なのかび</sup>7日目の墓掃除から、お盆の行事に入り、11日に盆市がたって盆用品を調べ、仏壇のおかざりは12日までに完了しておく。柳の木又は竹を横につるしたものにこんぶ、長ささぎ、長そうめん、なす、小りんご、麩などを糸でつるして下げる。その前に「コモ」を敷いて膳を置き、はすの葉を敷いて、いろいろお盆のごちそうや果物などを供える。盆箸、柳の箸をとってきて、家中の健康延命の願いをこめた。「盆花」「盆どうろう」を飾って先祖をまつる。

### 盆花取り

子どもがそろって野原にききょう、みそ花、粟花を多く取って来る。

13日夕方、迎え火をたき、ちょうちんを提げて精霊を迎えに寺に行き、墓参りをする。(粟生)

朝早く墓参りをするところもある。(丹生、正巖)  
墓前にはハスの葉にごちそうを供える。

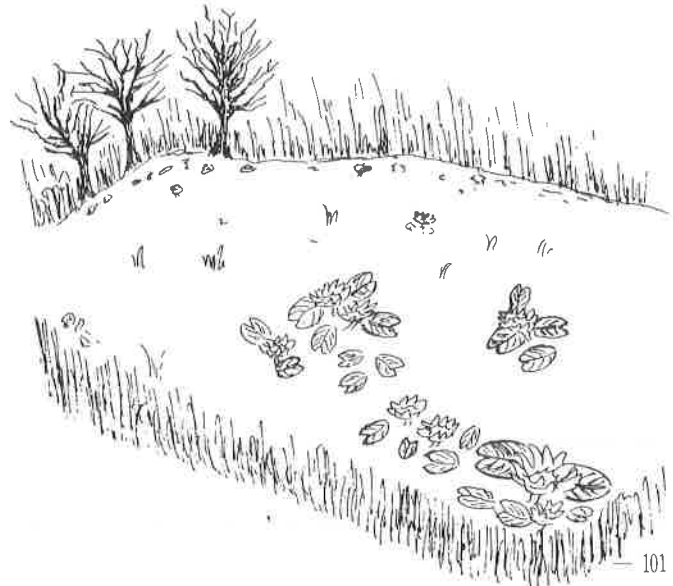
15日 中元、盆礼はこの日を中心にして20日までに行う。盆餅はハスの葉に盛って仏前に供える。

16日 送り火をたいて、精霊を送る。

20日 20日盆といって正月と同じくこの日で盆は終わりで 休み日

### お墓にお供えするもの

なす、きゅうり、りんご、うり、豆、そうめん、  
こんぶ、赤飯



## 迎え盆(お盆墓参り)(7月13日)

### 赤飯

材	料(5人前)
餅 米	カップ4杯
小 豆	カップ1/3杯
黒ごま	大さじ $1\frac{1}{2}$
塩	大さじ $1\frac{1}{2}$

お盆のごちそう

1. 赤飯
2. からかい
3. 昆布巻
4. えご
5. きゅうりびき

<つくりかた> ……作り方春祭りに準ずる。

### <言 伝 え>

15日中元、盆礼はこの日を中心に20日まで行う。盆餅について仏様に供える。

16日送り盆、庭で送り火を焚いて(門口が大道まで)3ヶ所に火を燃やして先祖の精霊を送る。3ヶ日寺にお参りに行く。(夜)20日を20日盆と行って正月と同じくこの日で盆は終り、休み日となる。

### <参 考>

からかいは、昔、お正月、お祭、お盆等のお客様用に必ず一品料理として作られた。一尾まま店で売られ、それを押し切で一切れの大きさに切って2日位米のとき汁にふやかし水からゆっくり煮、保存食として、たん白質源として食べられた。

## 餅 賄 (7月15日)

### 餅 賄

材	料 ( 5 人 前 )
豆ずり餅	
雑煮餅	
納豆餅	

### <つくりかた>

豆ずり餅は、虫送りに準ずる。

雑煮と納豆餅は、小正月に準ずる。



## 諏訪神社祭り(7月27日)

- |         |                |
|---------|----------------|
| 1. 赤飯   | 6. こいのうま煮      |
| 2. 吸い物  | 7. えご          |
| 3. からかい | 8. お浸し         |
| 4. こんぶ巻 | 9. さしみ(こいのあらい) |
| 5. 酢のもの |                |

### 〈つくりかた〉

◎春祭りに準じる。

### 〈言 伝 え〉

「榊迎え」「榊送り」の神事によってはじまる。

野黒沢、諏訪神社との間で行なわれる諏訪大神をまつり、あがめるため7月27日、を期して皆んなでにぎやかに祭礼を行う。みこし渡御豊年踊り、はやし屋台を町内一巡が行われた。

昔諏訪様鬼ごっこをした時にささぎ畑にかくれたその時目をしば木でつづいた、それで諏訪神社のお祭りの時ささぎ料理はつかわないと言っている。野黒沢、尾花沢の諏訪神社の祭りで休みになった。



